

地域で取り組むレモングラス

～平原区自治会むらづくり委員会～（下市町）

まだまだやれる！村の活性化

平原地区では高齢化が進む中、2014年に「平原区自治会むらづくり委員会」を発足しました。村を盛り上げる地域づくりを目指し、地域住民全体で取り組める比較的手間のかからない栽培作物を検討しました。

同地区は古くは薬草の栽培が盛んだったことからハーブの試験栽培を重ね、現在、14aの耕作放棄地を活用し、レモングラス栽培と6次産業化に取り組んでいます。

活動は老人会をはじめ地域全体での取り組みとなり、地域住民が集まり共同作業をすることで一体感も生まれてきました。



収穫の様子

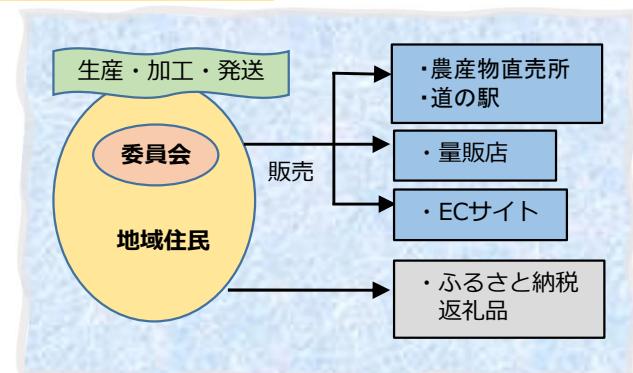
レモングラスの加工品に地域みんなの思いを込めて届けます

レモングラスは、ハーブティのほか、化粧石鹼、蒸留水、飴などに加工して販売しています。作業は、苗植え、収穫、洗浄、乾燥、粉碎、袋詰め、発送等があり、若者から高齢者まで住民が無理なく参加できるように配慮しています。

販売先は、近隣の道の駅をはじめ、農産物直売所、量販店、ECサイト、ふるさと納税返礼品などとして全国にお届けしています。



レモングラスを使用した加工品



無理なくみんなに参加してほしい

現在は、ECサイトでの販売が好調で品薄状態となっており、原料となるレモングラスの植栽量を令和4年度の1,000本から最近1,500本に増やしましたが、住民への負担も考慮するとこれ以上生産量を増やせない状況です。高齢化が進み人口が減少する中で、現在の活動をどのように継続していくかが課題となっています。

若い力で活動を継続

村おこしのために2015年から県道沿いでハーブなどを使った手作りピザを週一回販売していたピザ店「エルバ」は、高齢化とコロナ禍をきっかけに2023年11月から休業となりました。そんな時、地元のイベントに来た大学生と知り合ったことから、その友人ら10人余りが運営を引き継いでくれることとなり、2025年5月に再開しました。

今後も、地元の魅力を伝える活動を通じて、大学生など若者との交流を広げ、後継者の発掘、育成をしていきたいです。



ピザハウスエルバ

【問合せ先】平原区自治会むらづくり委員会

代表 北谷 寿朗

「ピザとレモングラスのむら平原」<https://shimoichi.com/heibara/>（外部リンク）